

総務部総務課長
兵頭 章夫 様

生活福祉部
健康づくり推進課長 松本 豊和

会 議 要 録

名 称	令和5年度 第2回 西予市自殺対策推進協議会	
開 催 日 時	令和6年2月27日(火) 15:30~17:10	
開 催 場 所	西予市教育保健センター 2階 集団指導室	
出席者	自殺対策推進協議会委員	会 長 宗 正弘 副会長 織田 英昭 委 員 兵頭 秀美(代理)、西川 浩司(代理)、松浦 圭、 山本 敦子、村上 哲也、中山 龍太郎(代理)、 沖野 健三、幸田 裕司、正司 弘 計11名
	その他	八幡浜保健所 浅海保健師
	事務局	部長：一井 健二 松本豊和、兵頭真、宇都宮弥生、権田恭子、岡中栄子 宮本美紀
議事内容(要旨)	<p>1. 開会(司会：健康づくり推進課 兵頭補佐)</p> <p>2. 開会あいさつ(宗会長)</p> <p>3. 議事</p> <p>議事(議事進行：会長 宗)</p> <p>(1) 第2次いのち支える西予市自殺対策計画(案)について 計画説明：宮本(40分)</p> <p>【委員】</p> <p>① 1ページ目の概要について、西予市の現状、課題を明確に示してこの計画の必要性を分かってもらう事が大事ではないか?</p> <p>→事務局：自殺対策については、基本法策定以前から西予市の自殺率が高い事が課題となっており、「命を絶つ」ことの対策を何か立てないといけないということで、市独自で事業としてう</p>	

つスクリーニングなどを実施してきた。そのような経緯を概要に明記したいと思う。

② 44、45 ページの児童生徒の SOS の出し方に関する教育については、必要だと思う。

【委員】

① 以前、自殺に直面したことがある。その時の地域の関わり、生徒との関わり、教職員との交流などがどうだったのかなど思うところがある。

基本計画はすばらしいが、実際現場でどのように取り組んでいくかが大切と思われる。

→事務局：基本計画を具体的にどう広めて、どう取り組んでいくかを計画自体に文言として盛り込むことが出来ていない。具体的には、ターゲットに応じた研修の取組、しんどい時には民生委員への相談などを住民の方に理解していただける活動を行っていききたいと思う。また、高齢者、障害者の問題に対しては各部署と連携し、来年度の事業計画の中で検討していきたい。

② 自殺後の遺族、特に母親への対応が必要だと感じた。

→事務局：遺族支援は、難しさを感じている。また民生委員さんと連携をとって対応していきたいと思う。

【委員】

・西予市は、早いうちから自殺対策への取組をしていただき、また、新規事業にも積極的に取り組んで頂いている。「SOS 出し方教育」を西予市立野村小学校でモデル事業を取り組んでいただいた。その方法等を研修会で取り上げ、八幡浜管内でも実施できた。

・今年度、「思春期のメンタルヘルス研修会」を、市町保健師、地域関係者、教育委員会関係者を対象として実施。教育委員会の方でも研修に取り組みたいということで、広めていくことができた。

・ひきこもり対策については、保健所が中心として対応しているところだが、どのように対応していけばよいかを教育委員会、民生委員さん、関係機関の皆様からのご意見を伺いながら、市町保健師と対応を検討していきたいと思う。

・今後とも保健所事業へのご協力をお願いしたい。

【委員】

・P50 重点施策 2 の勤務・経営者対策で、役員会の時に「健康について」の講義をしていただき好評だった。今後お願いしたいのは、自殺の原因となるパワハラの問題など、コンプライアンスについての専門的な知識を得る勉強会をお願いしたい。

→事務局：検討して、心の健康教育として取り組んでいきたい。

【委員】

・P24、令和4年度実施状況として、モデル事業としては、小学校1校、中学校1校。授業の実践は小学校1校、中学校3校で取り組んでいる。目標値では、各学校で年1回とあり数字的には少ないように思われるが、実践となると他の授業（人権教育、道徳教育など）などでも取り組んでいる。

・令和4年度野村小学校でのモデル事業後、養護部会で指導案パッケージを作成し、どの学校でも事業が取り組めるようにした。小学校12校中6校がパッケージを利用して授業の取組をしている。今後もパッケージを積極的に活用していきたいと思う。

・中学校は、「SOSの出し方教育に関する講演会」を全中学校で実施。今後も継続していきたいと思う。

・小学校では、学校の実態にあわせて授業やいろいろな活動の場で命の大切さを考えて活動に取り組んでいきたいと思う。

【委員】

・ゲートキーパーもターゲットを絞って関わる事が多くなっている。

ゲートキーパー養成研修を受けて、専門家をたくさん作るのではなく、最初のきっかけ、入り口のところで研修を受けた民生委員さんや地域の方に関わって頂くことが大切。

・市民の皆さんに知っていただく手段として、情報の発信が大切。その方法として、CATV、広報誌、SNSの利用。

・自殺対策の西予市パッケージを、他の市ではやっていないオリジナリティあるものであればいいと思う。

→事務局：パッケージについて、東京都の案をモデルに野村小学校のパッケージを作成したが、子供の個性も違うので、東京都とは全く違う野村小学校オリジナルの物ができた。

パッケージは、使いやすいようにオリジナリティをもって、活用していただきたい。見直しが必要な時には、連携して一緒に取り組んでいきたい。

【委員】

・P8 自殺者の原因。動機別構成比で、全国的にも西予市も「健康問題」が一番多い。「健康問題」の中には、精神疾患によるものか、がんを患って将来的な不安があるなど精神疾患以外の原因なのか分かれば教えていただきたい。

→事務局：「健康問題」の何が原因かは、この表の中では出てこない。遺書がない方については、全くわからない状況。

健康問題の中でも、精神的なものが多いと感じている。

	<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験上、精神的な事が多いように思う。 <p>病気の不安で一番多いのは、「がん」と思う。以前は、「がん」と言われたら、それを苦に自殺という方が多かった。がん患者さんを支える家族、訪問看護ケアなどのサポートにより、患者本人も頑張らないといけないと思う気持ちになるのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談事を共有する事が大切だと思う。病気の方は、共有する事が決まっているので共有できる（病院等で）が、金銭的な問題もやはりみんなが共有する事で、（自殺を）防げるのではないかと思う。 <p>【議長 宗会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な意見を頂き、この計画案に出し尽くされていない部分もあろうかと思う。今日頂いた意見を踏まえて計画の中に文言として盛り込んでいただくことをお願いしたい。 ・いのち支える第2次西予市自殺対策計画案、この内容をご承認いただきたい。全員挙手にて承認。基本的にこの計画案について、承認いただいたということで進めさせていただく。 <p>→事務局：修正したものを期日も設けて送付する。その後パブリックコメントを行い、出た意見については回答し、HPにも掲載する。委員の皆様にも送付するので確認していただきたい。</p> <p>8. 閉会（織田副会長）</p>
備 考	

年度 2018年度～

カテゴリ 行政一般

審議会名 西予市自殺対策推進協議会

公開開始日

審議会の概要

西予市自殺対策推進協議会は、自殺対策基本法に基づき、関係機関及び団体等が連携し、総合的かつ効果的な自殺対策の推進を図るため、設置されている。西予市社会福祉協議会会長を会長、西予市医師会長を副会長とし、愛媛県八幡浜保健所をはじめとする計14名をもって構成する。会議は会長が招集し、自殺対策推進に関する事項について協議する。